



第 38 号

2013年 6月 20日

発行者 車田 孝夫
発行所 栃木県立大田原高等学校
紫塚同窓会
印刷所 飯村印刷所



総会	2
支部だより	4
十年会	6
母校の近況	8
会員の声	12

会長挨拶



紫塚同窓会 会長 車田 孝夫

昨春秋、母校創立百十周年の記念式典が盛大に挙行されました。その他の関連事業も、記念事業実行委員会の皆様はじめ、会員各位のご協力のおかげですべて滞りなく終了できました。改めて厚く御礼申し上げます。

二月末の同窓会入会式では、二百三十九名の新会員を迎えることが出来ました。

昨年春には紫塚同窓会宮城支部が設立されました。他の支部同様、益々のご発展をご期待申し上げます。と同時に、支部間の交流も盛んになればいいなと思っています。

同窓会総会は毎年、六月の第一土曜日に開催することになりました。十年会が八月十五日に



決まっているのと同じように決めれば、会員の皆さんが予定をくむのに便利だというご希望に応えたものです。今年度も十年会が賑やかに開

催されますように、該当年次の皆様が多数参加されることを楽しみにしています。

なお、会の活動・運営に当たっては、各副会長が役割を分担し折に触れて正副会長・監事会を開き意見を交換し、常任理事会に報告することになっています。幸い、会の運営上は、財務の

創立百十一周年 更なる飛躍へ



学校長 寺内 孝夫

日頃より車田会長さんをはじめ、紫塚同窓会員の皆様には、母校の教育活動に対しましてご支援ご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

昨年、創立百十周年記念式典はじめ関連事業が無事終了できましたのも、ひとえに皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

問題を別にすれば、目下のとこる特別な難問はありません。会則に則り今期限りで役員が改選されますが、任期一杯しっかりと務める所存ですので、よろしくお願い致します。最後にになりましたが、事務局担当の先生方のご協力に感謝いたします。

本年四月十九日の第百十一回創立記念行事には、現在、農林水産省大臣官房審議官として活躍中の塚原太郎氏（高30回卒）をお招きし、「大高卒現在官僚」と題してのご講演をいただきました。内容もさることながら、官僚として中央官庁で働く先輩の姿に生徒達は感慨ひとしおのようでした。



校長式辞では、創立記念日の由来や校訓「質素堅実」の意味、本校の特色の一つとなっている授業前の「黙想」の始まり、85キロ強歩の歴史などについて述べました。特に今回は、教室の正面に掲額されている本校学習指導の根幹をなす「学習の指針」について取り上げました。六項目からなる指針が本校に学ぶ間のみならず、生涯にわたっての心得、生き方の指針となつて欲しいと願うものです。今後とも教職員一同、母校の更なる発展に力を尽くしてまいります。同窓会員皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年度総会

6月の第一土曜日に固定化された紫塚同窓会総会

6月1日(土)、市内の大田原温泉・ホテル龍城苑で開催された。

総会は、例年通り十年会該当年次の高25回・山崎稔氏の司会で進められた。

先ず、車田会長から創立百周年記念事業が無事終了したことのお礼の言葉などが述べられ、続いて寺内校長から、活気ある母校の様子が紹介された。

議事に先立ち栄典者へお祝い金が車田会長から手渡された。

栄典者のうち前島恒夫氏、蓮実浩氏、車田正信氏、渡辺喜美氏(代理)が出席され、代表して前島恒夫氏がお礼のことばを述べられた。

事業報告、決算報告、事業計画、予算は原案通り承認された。稲垣重弘代表常任理事(高8回)から「同窓会の情報発信手段としてホームページとfacebookを活用していることは良いことだ。会報のあり方を含めて更に検討されたい。」池嶋英哲代表常任理事(高20回)からは、「財政がひっ迫しているのだから、会報発送時に支援金お願いの振込

用紙を同封してはどうか」との意見が出され、本部で検討することとなった。



懇親会

高25回代表常任理事飯島秀人氏の司会で栄典者を囲み賑やかに開催された。(出席80名)

高2回の三本木武・前東京学会長、永井洋・宮城支部支部長はじめ、高7回、高8回は大勢参加され旧交を温めておられた。

締めは、中34回の中島勇平さんの万歳三唱でお開きになった。92歳になる中島先輩は、今でも晩酌2合は欠かさないとのこと。皆「あやかりたい」との言葉を残して会場を後にした。

叙勲者・当選者一覧

- 叙勲者
- 前島恒夫(高7) 旭日双光章
- 蓮実 浩(高8) 瑞宝小綬賞
- 車田正信(高10) 瑞宝単光章
- 藤田季一(高24) 藍綬褒章
- 当選
- 渡辺喜美(高22) 衆議院議員
- 関谷暢之(高33) 栃木県議会議員



平成24年度紫塚同窓会事業報告

- 4月19日(木) 第110回創立記念式典
- 4月19日(木) 監査
- 5月10日(土) 十年会第1回準備会
- 5月19日(土) 総会及び懇親会
- 6月20日(水) 同窓会報第37号発行
- 7月27日(金) 十年会第2回準備会
- 8月15日(水) 第59回十年会
(併中2、高4、高14、高24、高34、高44、高54回)
- 10月18日(木) 創立110周年記念式典
- 1月30日(水) 正副会長監事会
- 2月5日(火) 正副会長監事会
- 2月19日(火) 常任理事会
- 2月28日(木) 同窓会入会式(高65回)

平成24年度各支部総会等報告

- 4月21日(土) 紫塚同窓会宮城支部設立総会
仙台ガーデンパレス
- 6月9日(土) 紫塚同窓会矢板支部総会
矢板イースタンホテル
- 6月22日(金) 県庁紫塚同窓会総会
ニューみくら
- 7月21日(土) 紫塚同窓会東京会役員・幹事会
品川プリンスホテル
- 10月20日(土) 紫塚同窓会ゴルフ大会会長杯
琵琶池ゴルフ倶楽部
- 10月27日(土) 近畿紫塚会総会
京都タワーホテル
- 11月9日(金) 紫塚同窓会東京会総会
品川プリンスホテル
- 11月10日(土) 小川地区紫塚同窓会総会
幸寿司
- 3月19日(火) 宇都宮紫塚同窓会総会
ホテル丸治

平成25年度紫塚同窓会一般会計予算

1. 収 入

Table with 5 columns: 項目, 本年度, 前年度, 増減, 備考. Rows include 前年度繰越, 入会金, 会費, 寄付金, 雑収入, 合計.

2. 支 出

Table with 5 columns: 項目, 本年度, 前年度, 増減, 備考. Rows include 創立記念費, 総会費, 十年会費, 会議費, 通信費, 会報, 卒業褒賞補助, 母校活動補助, 慶弔費, 支部会等補助, 旅費, 事務費, 事業積立, 雑費, 予備費, 合計.

平成24年度紫塚同窓会一般会計決算報告

1. 収 入

Table with 5 columns: 項目, 予算, 収入, 増減, 備考. Rows include 前年度繰越, 入会金, 会費, 寄付金, 雑収入, 合計.

2. 支 出

Table with 5 columns: 項目, 予算, 支出, 残額, 備考. Rows include 創立記念費, 総会費, 十年会費, 会議費, 通信費, 会報, 卒業褒賞補助, 母校活動補助, 慶弔費, 支部会等補助, 旅費, 事務費, 事業積立, 雑費, 予備費, 合計.

平成25年度紫塚同窓会事業計画

- 4月19日(金) 第111回創立記念式典
4月24日(水) 監査
5月22日(水) 十年会第1回準備会
6月1日(土) 総会及び懇親会(会場: 龍城苑)
6月20日(木) 同窓会報第38号発行
7月26日(金) 十年会第2回準備会
8月15日(木) 第60回十年会
(高5、15、25、35、45、55回)
1月下旬 正副会長監事会
2月下旬 常任理事会
2月28日(金) 同窓会入会式(高66回)

平成24年度紫塚同窓会特別会計(基金)決算報告

Table with 3 columns: 収入額, 支出額, 残額. Values: 20,457,119, 0, 20,457,119.

平成24年度紫塚同窓会110周年記念事業積立決算報告

Table with 3 columns: 収入額, 支出額, 残額. Values: 1,185,397, 1,185,397, 0.

平成25年度各支部総会

- 紫塚同窓会宮城支部総会 5月25日(土) ホテルJAL シティ仙台
紫塚同窓会矢板支部総会 5月25日(土) 矢板イースタンホテル
紫塚同窓会東京会役員・幹事会 7月20日(土) 品川プリンスホテル
紫塚同窓会ゴルフ大会会長杯 10月19日(土) 品川プリンスホテル
近畿紫塚同窓会総会 10月26日(土) 那須野ヶ原カントリークラブ
紫塚同窓会東京会総会 11月9日(土) 品川プリンスホテル
小川地区紫塚同窓会総会 11月9日(土)
県庁紫塚同窓会総会 8月上旬予定
宇都宮紫塚同窓会総会 月 日()

常任理事会

平成25年2月19日(火) 母校会議室にて平成24年度常任理事会が開催された(出席者48名) 例年通り同窓会総会にかかる議案を審議し、事業、会計等原案通り承認された。
会議終了後、「総会にかける議案を審議するには、常任理事会開催日が早すぎないか。新年度に入ってから開催してはどうか」との意見が寄せられた。母校(事務局)と相談の結果、学校行事や教員、事務職員員の異動等を勘案すると、「これまで通り2月開催」がありがたいとの回答があった。

支部だより

紫塚同窓会東京会

副会長 今泉 薫(高20回)

恒例のゴルフ会は21回目を数え、平成24年5月「千葉夷隅C」で開催。22名が晴天の下白球を追い、互いのプレーに笑い声絶えず、絆がより強まった。7月には車田会長、寺内校長、磯先生をお招きし、「役員との夏の懇親会」を催した。(41名参加) 9月には会報「むらさき」三千部発行し、会員千二百名に総会案内を送付した。

創立六〇周年記念総会

11月9日、紫塚同窓会東京会の創立六十周年記念総会が開催された。大島会長から感謝の言葉、車田会長、寺内校長よりお祝いのご挨拶があった。恩師渡辺光男・今井功両先生をお迎えし多くの初参加者があった。また津久井大田原市長、藤田栃木県東京事務所長から郷土の現状などお話があり、渡辺喜美代議士、相馬、山口県議、神島副会長にもお越し頂き、記念総会・懇親会を賑やかに楽しむことができた。

特別講演では日本銀行鮎瀬典夫情報局長(高29回)を講師に迎え、日銀と一般銀行との業務の違いなどの話に、皆さん興味深そうに聞き入っていた。

総会では、永年東京会発展に寄与して頂いた三本木武前会長、猪股秀章事務局長、会報担当の青木義脩、事務局とホームペーJ担当の田代隆行副会長にそれぞれ記念品・感謝状が贈られた。懇親会は出身地域毎のテーブルを囲み、故郷や趣味の話で盛り上がった。記念総会に相応しく、

首都圏紫塚同窓東京会

会長 大島 栄寿(高6回)

平成25年度 東京会総会&懇親会 11月9日(土)

会場 品川プリンスホテル

OB皆さん!先輩も後輩もどうぞお気軽にご参加下さい。

事務局長 猪股 秀章(高21回) ☎03(3586)5586

実務事務局 大町 正郎(高16回) ☎03(3571)1737

申込詳細は東京会 URL <http://www2.ocn.ne.jp/~purple/>

最高齢は白井文夫氏(中35回・89歳)、最年少は清水孝宏氏と川島啓介氏(平成9年卒・33歳)と幅広い出席があり、130名の活気溢れる総会となった。また大女高・千草会の皆様にもご参加頂き花が添えられた。最後は菊地健男氏(高33回)指揮の下、校歌斉唱で幕を閉じた。

今秋の総会までに六〇周年記念誌と名簿発行予定で現在準備を進めており、皆様の絶大なご協力をお願い致します。

近畿紫塚会

会長 西岡 尊(高7回)

平成24年の当支部の総会は10月27日に京都で開催した。当支部の会合はかねてより大田原女子高のOBで作る千草会と合同で開くことにしている。学び舎は別々であっても同じ故郷、年ふれば一緒にとの思いが通じ合いい、いつものことながら華やかで話題尽きない楽しい会合になっている。

今回も大田原から車田会長、両校の校長および関係者のご出席を賜り総勢30名弱ではあるが賑やかな会合になった。車田会長にご挨拶いただき、両校長からは現在の学園模様、運動部な

どの部活動、進学状況などについて説明があり、一同若き後輩たちの頑張りに感嘆し、質実剛健の校風に思いをはせた。

当支部では関西の大学に進学している学生諸君にも積極的に出席を要請している。今回も数名が出席し、高校卒業後まだ日も浅いこともあり、校長先生などとの会話が弾んでいた。こうした学生が加わることにより出席者の平均年齢はぐうんと低くなり、会の活性化につながっている。

会終了後は支部で用意した二次会があり希望者だけではあるがたいがいカラオケバーに流れ込む。今回も同じで、若いも若きも男も女も競って得意の歌を披露して盛り上がり、改めて「その人となり」を発見した。もの静かな車田会長のなつかし

第78回総会

近畿紫塚会

平成25年度総会は10月26日(土)

会長 西岡 尊(高7回)

連絡先 〒614-8262
京都府八幡町岩田松原7
松木守夫(高20回)
TEL 090-2105-2396

い歌を聴けたのも貴重であった。昨秋に大田原で開催された紫塚会G Fクラブコンペには当支部からは2名が参加した。遠くて難しい点もあるが増員し、他支部などとの交流をもっと深めていきたい。

県庁紫塚同窓会

世話人 荒井竜司(高42回)

県庁に在職する大高OBで組織する本会は、今年度7人の新人を迎え、286名になった。本会では、退職により退会する会員と新規入庁により入会する会員数がほぼ同数で推移していることから、近年は280人前後の会員数を維持し、県庁内では一大勢力となっております。

平成24年度の総会は、47名の出席を得て6月22日に開催されました。この総会におきまして、岩波定美氏(県央産業技術専門学校・現県立美術館長)が会長に、肥塚喜弘氏(前大田原県税事務所長)及び佐藤佳正氏(教育委員会教育次長・現労働委員会事務局次長)が副会長に再任されました。

また、大高出身で栃木県選挙管理委員会委員である天鷹酒造の尾崎宗範社長が顧問として推

挙され、承認されました。

議事後の懇親会には、御多忙中にもかかわらず寺内孝夫校長や増淵忠行紫塚同窓会副会長に御出席いただき、進学状況や八五km強歩などの近況や同窓会の最近の活動状況について御報告をいただいた他、本会の顧問をお願いしている渡辺喜美衆議院議員(代理)、中川幹雄県議会議員、相馬憲一県議會議員から叱咤激励が入った御挨拶を賜りました。

私たち本会の会員は、母校の校訓である「質素堅実」、「独歩豊潤」、「自由清新」を胸に、今後も県勢発展のため微力を尽くす所存であります。

最後になりましたが、母校大田原高校のますますの御発展を祈念申し上げ、本会の近況報告とさせていただきます。

宇都宮紫塚同窓会

事務局長 笹沼 収(高9回)

去る3月19日、宇都宮紫塚同窓会総会が宇都宮市内のホテルで行われた。

当日は寺内校長先生、車田同窓会長、大島東京同窓会長が来賓として出席された。

会員は24名が出席され、総会後の懇親会では学生時代の思い

宇都宮紫塚同窓会

会長 青木 勲(高9回)

事務局 〒320-0833 宇都宮市不動前1-3-14
宇都宮東総合警備保障(株)内
TEL 028-639-0308
FAX 028-638-8396

出に話がつきないようであった。また、寺内校長先生からは大入学入試の概況報告があり、後輩たちの奮闘ぶりに感心しておりました。

小川支部

支部長 森嶋信二(高14回)

紫塚同窓会小川支部は、毎年11月の第2土曜日の午後6時より支部総会を開催しております。

「支部会員資格保持者」は100名を越す規模になっていますが、年会費納入の正会員は平成24年度で25名にとどまっています。また、毎年の支部総会に出席される会員は、20名弱にとどまっています。特に、現役の若い会員は全くと言っていい程いません。このままでは、支部の存在が危ぶまれる状態ではない

かと心配しております。

なぜかといえ、私を中心に、会員を増やすべく必要なことをやっていないことが原因だと深く反省をしております。しかし、現実として、若者層には「同窓会」に対する趣味や魅力などが全くないのも確かではないかと考えています。支部の総会に集まった会員からは、なぜ若者が参加してくれないのか、と嘆く声がいっつも聞かれます。このような傾向は「小川支部だけのもの」なのでしょうか。

今年度の総会で役員の改選が行われますので、新役員の方々には、是非とも何らかの手段によつて会員増が図れますよう期待しております。

紫塚同窓会矢板支部

事務局長 横塚順一(高31回)

紫塚同窓会矢板支部は、市内の卒業生の方の多くの声を受けて、平成17年1月の設立総会により組織され、設立後8年余りが経過しております。

会員は、市内に在住する大高出身者から構成されており、毎年度事業報告、決算報告等を議案として定期総会が開催されています。

平成25年度は、5月25日に市

内のホテルを会場に、会員30名の参加のもと、紫塚同窓会の車田会長をお招きして総会が開催されました。

総会終了後には、大高出身者であり、ご自身も長く大高で教鞭をとっていらした元黒羽高校長の渡辺光男先生より、「大高と私」と題しての特別講演が行われ、豊富な経験を基にされた貴重なお話し、オカリナやギターを使つての演奏などに参加した会員は熱心に耳を傾けていました。

その後に行われた懇親会では、会員同士が旧交を温めるとともに、今回は、20代の若い会員の出席もあり、大高校歌を斉唱するなど大変有意義な時間を過ごすことができました。

紫塚同窓会宮城支部

監事 相馬 俊(高13回)

最初に、母校大田原高等学校の文武両道の雄としての着実なご発展と各地の同窓会の磐石なご発展を、心からお喜び申し上げます。

さて、宮城支部の設立準備は、平成23年3月11日に発生した未曾有の東日本大震災の7ヶ月後の10月から、大島栄寿同窓会副会長にご指導を仰ぎながら取り

組みました。

そして、平成24年4月21日に紫塚同窓会宮城支部設立総会を開催し、車田孝夫同窓会会長、大島栄寿会長、齋藤良則教頭のご臨席のもと、10名の同窓生が出席して第7番目の支部として仲間入りし、宮城支部が第一歩を踏み出しました。その後、設立総会資料及び紫塚同窓会報(第37号)を宮城県在住同窓生38名に送付して、会員加入と年会費納入依頼を行ったところ、13名の同窓生からの会費納入がありました。

次に、平成25年度の活動としては、5月25日に定期総会を開催いたしますが、今年度から「学都仙台」で就学中の学生並びに「杜の都仙台」に在住の千草会会員にも声を掛けて、支部組織の拡大充実と支部活動の活性化に取り組んで参りますので、それらの情報提供を頂ければ有難く存じます。

最後に、今後も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、母校大田原高等学校並びに紫塚同窓会の益々のご発展を衷心よりご祈念申し上げます。宮城支部の近況報告とさせていただきます。

第59回 十年会

また会おうではないか！

高4回 千坂 英雄

同期の級友が「紫塚」を起点に、それぞれの道を歩き始めて60年が経つ。中田原にある勝田屋とホテルアオキで開かれた、この60年目の最終の十年会・同期会には併中2回、高4回併せて28名の級友が参加した。

中学／高校の6年間、多感な青春を過ごしたこの地、この時の記憶は今なお鮮明である。いまは鬼籍の人となった先生方、全身全霊で私どもにぶつかってきてくれた沢山の先生のことには忘れられない。お名前、担当教科、出来事などとともに、若い心に刻まれた残像を今も反芻している。私は、「紫塚」に学んでよかったと心から思う。十年会は、私には2回目の参加である。若い頃は先のことにしか気が回らず、いつしか紫塚・級友とは疎遠になっていた。50年、60年ぶりの級友と話をし、こんな身近に様々なキャリアを

持つ人間、広い世界があったのかと目からうろこの思いがした。わが人生は、自分の世界を小さくするために時間を使ってきたのではと思いたくなる。

60年間、同窓会を支えてきた幹事の方々への感謝は言い尽くせない。もう少し続けてとお願ひしたいところだが、お互い年を取った。これからは、だれか余力を残している人が自発的に会合の発意、世話をしてーと願うのは虫がよすぎるだろうか、まだ語り合いたいことが沢山ある。

十年会雑感

高14回 佐藤 勝洋

「おや、あの顔は？」
同窓会の多勢の中を、胸の名札を頼りに近づけば、まぎれもなく彼だった。50年を経た年月も瞬時に縮まってーこんなふう
に十年会は始まった。
幾多の風雪を浴びたであろうこの日まで。お歴々は歩んできた人生に自信を漲らせて会場に

参集した。それぞれの背後にオーラに似た輝きを感じさせている。自ずから然りとする、歩み続けた男の自然な姿がそこにあった。それにしても10年先輩諸兄の軒昂さは「どうだ！」と、我々の10年先に少しの勇気をくれる。そして校歌斉唱、かつては高
歌放吟ばかりだったその詩も、年月を重ねてみれば改めて含蓄あるを知ることもなる。年齢差を伴って、全体会のセレモニーが終わったあとは、それぞれの場所と趣向で同期会へと移行する。



半世紀を遡って当時の精神構造(?)に戻った70歳手前の高校生たち！。談・飲食に尽きぬ花が咲いて、心地よい空気の中に身を委ねるのだった。恩師である小松眞一郎先生も近しく接してくださり、青春の頃のスポーツ談や恋談義も尽きぬ思ひ出ばなしであった。

宴たけなわとなり、会場を見回せばグラスを片手に幾つもの輪が出来ては解けまた新たな輪になっていくさまは、学ラン姿こそないものの教室内に於けるそれだった。笑いたつぷりの余興に拍手あり、自己紹介ではマイクの前に立ったひとり一人に微笑ましい味が滲み出ていた。

おそらくは家族も見たいものな
いであろう純な表情が懐かしい。
やがて「高校三年生」を合唱するに至っては、一転して不屈の歴史を背負ったしたたかな高校生になって和するのだった。

楽しい時間は急湍のように過ぎる。名残を惜しんで交わす握手、挨拶は再会の約束だったのか。大正の詩人・金子みすゞの詩を彷彿とさせる光景がそこにあった。

「みんな違ってみんないい」

同窓会に出られる人生

高24回 鎌田美樹雄

十年ぶりの同窓会であった。十年前とくらべて、みんな貫禄が出てきていた。考えれば我々の世代が、この社会の責任者である。大高時代の紅顔の少年が、久々の再会の宴席で、お酒が入り、にこやかな紅顔の定年になっていた。

十年たったのに、若い心はそのまま、少し頭が禿げて、お腹が出ているのは、私を含めて数人であった。遠くへ行ってお盆しか旧友に会えず、大はしゃぎしている友。知人が来れず心なし、おとなしくしている友。気の合う仲間と時たま酒を飲んでいる連中。高校時代の美しいマドンナの話をしている連中。話を聞いているだけで、幸せな一時であった。

父からは、同級会へ出られる人生になれとよく言われていた。暇がない、行きたくても体が悪い、異郷の地にありすぐには帰られない。ここに來られた仲間
は、人生を祝福されていると思っ
た。

私と同じくメタボの医師と、お互い十年後健康で再会しましょうと、そっと握手をしてお別れした。なつかしい大高時代、そして友達よ、ありがとう。

次回は気楽に

参加しようよと約束し

高34回 渡邊 康成

他年度卒の方々に比べ、二次会までを合わせて15名と参加人数が少ない状況でありましたが、我々にとっての第1回・第2回に比して、数を増やして参りました。古沢先生、青木先生、金澤先生の3人の恩師の先生方に御出席いただき、在学時の思い出話や現在の仕事・趣味・家族等々の話に花を咲かせました。先生方は二次会にまで出席し、我々にお付き合いました。私、幹事の一人でしたが、参加者の皆さんは、受付、恩師の先生方の接待、二次会の司会の仕事や参加者を増やす働きかけをするなど、皆で協力できた十年会だったと思います。次回は59歳になる年度の2022年の8月15日です。参加者全員にとって、多くの方々に出席していただけることが何よりも嬉しいことです。今回の参加者全員が、次回の出

席を約束して解散しました。次の案内の際には、前回誰が出席したか私を始め幹事に尋ねてください。そして、「あいつが出ていないなら、出てみようか。」という気楽な気持ちで参加していただけることを願っています。

十年会に想うこと

高44回 古内 誠二

高校を卒業して20年。高校の卒業が18歳のときなので、いつの間にか卒業してからの年月の方が長くなっていました。10年ぶり、20年ぶりの顔を見て、懐かしさが込み上げて来るだろうと思っていました。が、「久しぶり」の声でタイムスリップでもしたかのように、昔と変わらぬ様子で十年会が始まりました。20年経った今でも、高校時代の友人との強い「絆」を感じるこ

これから「四十にして惑わず」の歳を迎えるに当たり、十年会で同級生や恩師に再会できたことは、大変有意義でありました。今回幹事として、会の運営の難しさを経験しましたが、紫塚同窓会の持つ「絆」の強さを改めて感じ、今後も継続して「十年会」が開催されることを願います。全国で活躍する同窓生が一人でも多く「十年会」に参加し、紫塚同窓会の活動が多くの会員に支持されることを期待いたします。

ドキドキしながら会場へ

高54回 中尾 泰治

現在大阪に住んでいる私は、唯一参加しようと連絡を取り合っていた友人に那須塩原駅から車で拾ってもらい、どんな場なのか、ドキドキしながら同窓会の会場へ向かいました。その受付で10人に満たない名簿を見た時は、正直残念でした。会場全体では4回卒の大先輩をはじめ、たくさんの方々がいらっしやいました。年齢で言えば79歳をはじめとする諸先輩の元気なご様子を見て、これは日本の縮図かもしれない、とふと思いました。人数こそ少なかったですが、当時の先生方、同期生と話すの

は懐かしく、楽しい時間でした。家がすぐそばの同期生と初めて知り合うということもありました。

私が一番印象的だったのは、大島先生が定年後も非常勤として大高で教えておられるという話をなさっているときの、ちょっとはにかんだようなお顔です。

先生には2年生の時に数学を教えていただきました。いつもキリッとされて教えてらっしゃる姿が私の先生のイメージでした。当時見たことのない一面を見て、先生と生徒という関係とは少し変わったところでお話できるということを理解した気がします。最後になりましたが、このような機会をおつくり頂いた、幹事の皆様に感謝申し上げます。



母校の近況

今回も同窓会員の視点でまとめました。主に「紫塚2012」「図書館だより」「大高PTA会報」「紫窓」から引用しました。

【写真協力】ミハル写真館 (編集長)

学校行事

強歩ってなんて

有難いんだらう

PTA会長 神島仁誓
(同窓会副会長・高24回)
私がかつて教員として大高にお世話になり昭和61年から63年の第1回から第3回強歩では先導歩として全コースを歩かせていただきました。平成4年の第7回から平成10年の第13回強歩では、強歩の主任として強歩の計画立案に携わったことがございます。PTAの方々との協議を重ね支援をお願いしたことが思い出されます。

さて今回の強歩では、学校から年度当初より強歩の強調点が示され、PTAも全面的に協力をする態度で臨んでまいりました。強歩の具体的な目的である「自分でできることは自主的に



工夫して対処しよう」という方針に立ち返って、ポカリ等の接待やブルーシート等のサービスは行わないことになりました。「過剰なサービスを控えて強歩の原点回復をはかるべき」という課題がこなせたかと思つてます。

比較的風雨寒暑の穏やかな時期に、那須のが原扇状地のほぼ外周部を歩行できるといふフィールドに恵まれ、同窓生・地域の方々、教職員・PTA等の全面的な支援を受け、何より困難なこと立ち向かうのをいとわないうお子さんに恵まれている。ありがたいご縁に感謝したいものです。

(大高PTA会報第55号)

第28回強歩

平成25年5月16日、17日の二日間にわたって伝統の行事が開催された。出発地の正門前に、大田原市のユルキャラ「与一くん」が応援に駆け付けてくれ、NHKテレビ、とちぎ放送テレビで放映された。紫塚同窓会のFacebookでも刻々と状況が伝えられ、「いいね」が急増した。



第47回大高祭

サブタイトル
「ロンドン五輪級の感動と経済効果をあなたに」

平成24年9月1日(土)に開催され、一般公開された。

創立百十周年記念式典

同窓会係主任 磯 仁

10月18日記念式典が挙行された。「質素堅実」の校訓にふさわしい厳肅な式典であった。

平成21年度に記念事業実行委員会を設置し、会則及び記念事業の検討、同窓会名簿の発刊、百十周年記念誌の発刊の準備などについて話し合った。途中、東日本大震災の影響で、第二回実行委員会が延期になるというアクシデントもあったが回数を重ね、記念式典の準備を進めてきた。

式典当日は170名を超える来賓のご臨席をいただき、厳粛な式典が執り行われた。式典後、応援団による演舞が披露された。質素堅実の校訓にふさわしい力強いものであった。

会場をハーモニーホールに変えた記念講演には、さだまさし氏を迎え、450名を超える来賓・保護者の方々のご参加をいただき、氏の人生観にもとづく話と歌に心打たれた方は少なくなかったと感じた。

今回の創立記念事業においては同窓会・PTA役員をはじめ、本校職員全員の協力によって無事終了することができました。心より感謝いたします。



修学旅行

平成24年12月1日～4日、羽田から空路那覇へ。沖縄では海洋博公園、平和記念公園、首里城・守礼の門などを見学。コース別体験、ガナ追体験、班別研修などを経験した。

羽田空港での「セキュリティチェック」などを通し、良い体験ができたと振り返っている生徒もいた。



2012/12/04 08:42

校内球技大会

10月24日に開催された。1年生はソフトボール、バスケットボール、フットサル、卓球と総



合を。2年生はバスケットボール、バレーボール、サッカート総合を。3年生はソフトボール、バレーボール、ソフトテニス、卓球と総合を競った。

寒稽古

大高の伝統行事の一つである寒稽古が1月21日から行われた。私はマラソンに参加した。去年体調をくずしてしまい、歩くことが多く納得がいかない寒稽古になってしまったので、今年こそはと気合を入れた。しかし、今年は天候が悪く初日はグラウンドを走り、二日目は中止になり、三日目以降ポツポツ通りを走るという日程でした。私は初めの二日間で調子が狂い、寒稽古が始まる前の気合がどこかへ行きそ

ないと気合を入れなおすことができた。そして、無事五日間の寒稽古が終わった。最終日に、保護者の方々が作ってくれた豚汁をいただきました。体や心も温まり、保護者の方々への感謝でいっぱいでした。これから大



(大高新聞・紫窓 第147号より)

平成24年度卒業式

平成25年3月1日(金)、平成24年度卒業式が、本校第一体育館において厳粛な中にも盛大に挙行された。寺内孝夫校長より卒業生の嶋原稔弥が代表として卒業証書を授与され、新たに239名が我が紫塚同窓会の会員

として入会することとなった。来賓祝辞の中で車田孝夫同窓会長は「今日までの学習を基礎として、なお一層、知識や経験を深め、社会の急激な変化に柔軟に、かつ積極的に対応し得る主体的な行動力と豊かな創造力を養い、友愛と奉仕の精神に

をいかしたいと思えます。」「卒業生代表の瀬谷勇作が「私たち自身が今やれること、やれなければならぬことを一つ一つ確認しながら、日本人としての、そして、大高生としての誇りを胸にこれからの時代を歩んでいきたい」と力強く誓った。

新しく大田原高校を飛翔した後輩たちの卒業を心から祝福するとともに、今後の精進と活躍を大いに期待したい。

平成25年度入学式

平成25年度4月5日(金)、平成25年度入学式が挙行された。天気も心配されたが、当日は過ごしやすい天候となった。

今年度の新入生は定員に満たず、233名の入学者であった。担任による呼名では緊張しながらも優るとも劣らない大きな返事をしていた。寺内孝夫校長による入学許可後の校訓を聞くその姿には、高校生活への緊張と期待感がみとれた。

入学者宣誓では1年6組の菊川力矢君が行い、大高生としての生活に誇りを持って臨むことをしっかりと口調で述べた。その後神島仁誓PTA会長の祝辞へと進行し、入学式は厳かな雰囲気の中無事行われた。

今年度は「大高教育力」の充実・強化を学校経営方針の第一に置き、初期指導、居残り学習体験など新しい試みも実施される。また、5月には第28回強歩が行われる。質素堅実の校訓のもとに、文武両道を成し遂げ、夢と希望を持って充実した大高生活を送ってほしい。



第百十一回創立記念式典

4月19日、第百十回創立記念式典が行われた。

記念講演には、高30回卒である塚原太郎氏を招き、「大高卒現在官僚」といった演題で、普段の生活では聞くことのできないお話しをしていただいた。なかなか理解しにくい官僚という仕事の実情や苦労を知ることができ、生徒たちの物の見方や考え方に幅を持たせてくれる、内容ある講演だった。

その後に行われた芸術鑑賞においては、林家たい平さんを中心とした落語を鑑賞し、話し手さんたちの巧みな話術と、落語本来のおもしろさに会場は割れんばかりの拍手に包まれ、本校生たちも新しい芸能に触れ、楽しいだけでなく新たな世界観を得ることができた貴重な経験であった。

部活動

どくしよ甲子園

奨励賞受賞

チーム岩本は、第二回どくしよ甲子園で、昨年の最優秀賞に引き続き奨励賞を受賞した。

平成24年度 特別活動部の実績

関東大会以上出場部

No.	部活動名	大会名(開催地)	種目等	成績	学年	個人氏名
1	山岳部	全国総体登山大会	団体	出場		
2	陸上競技部	関東総体陸上競技大会(群馬)	円盤投・やり投	出場	3年	平山 英幸
			三投種	出場	3年	今津 崇人
			400mH	出場	2年	大田原 拓海
			棒高跳	出場	1年	小沼 亮介
		関東選抜新人大会(山梨)	400mH	出場	2年	大田原 拓海
3	相撲部	関東総体相撲大会(千葉)	個人	出場	3年	川子 陽太
					2年	和気 潔一朗
					2年	萩庭 亮
					2年	張 勇貴
					2年	石崎 豪浩
					1年	渡邊 悠生
					1年	川上 敦也
					1年	菅 倫一郎
					1年	鈴木 智之
		全国相撲選抜大会(高知)	個人	出場	2年	石崎 豪浩
				1年	川上 敦也	
				1年	川上 敦也	
4	ソフトテニス部	関東ソフトテニス大会(東京)	団体	出場		
5	水泳部	関東総体水泳大会(群馬)	400m/ルー	出場		
			800m/ルー			
			100m平泳ぎ		1年	添田 慶
6	スキー部	関東スキー大会(群馬)	回転・大回転	出場	1年	原田 将寛
			回転・大回転	出場	1年	阿久津 陽平
			回転・大回転	出場	1年	原田 将寛
			大回転	出場	1年	原田 将寛
7	囲碁部	関東地区囲碁選手権大会(千葉)	団体	出場		
		全国囲碁選手権大会(東京)	団体	出場		
8	写真部	関東地区写真展(茨城)	個人	出展	2年	川上 弘介
9	吹奏楽部	東関東吹奏楽コンクール(神奈川)	高校B部門	金賞		
10	合唱部	関東合唱コンクール(埼玉)	高校A部門	銅賞		
11	美術部	全国総合文化祭(富山)	美術部門		2年	伊藤 寛人
12	文芸部		文芸部門		3年	糖万 智之

どくしよ甲子園とは、読書会の成果を一枚の「読書ボード」に表現する高校生のコンクール。朝日新聞、全国学校図書館協議会の共催。文部科学省後援、出版文化産業振興財団協力。学校で行われる読書会をもとに、その本の魅力や本文の引用等を用いてA3用紙にまとめ、イラストやルポ載せ投稿する。

今回の題材は大江健三郎の『飼育』。自分たちで自由に取り組み作業した。授賞式はセンター試験の初日で、築地桂離宮で行われた授賞式には、2年生

山岳部

5年連続全国高校総体出場

インターハイ出場は僕にとつて二度目の大会であり昨年の悔

の櫻井篤史君が出席。少々緊張したが全国各地から集まった高校生と仲よく話ができ、貴重な体験ができたと振り返っていた。読書は孤独とは無縁で楽しいと言うことを味わってくださいと締め括られた。

(大高PTA会報第57号より)

野球部

平成24年度

春季県下大会 ベスト8

秋季県下大会 ベスト8

1年生大会 優勝

平成25年度

春季県下大会 準優勝

関東大会 出場 神奈川

1位の桐蔭学園に1対2の惜敗「甲子園近し」の印象を多くの方が持たれた。期待過剰にならず、しかししっかり足を地に付けて頑張りぬいて欲しい。今こそ、同窓会として物心両面での支援が必要です。

フレージャー、大高野球部。

囲碁部

囲碁部の団体メンバーは、全国高校選手権大会に出場し、一勝をあげることが出来た。運動部に匹敵するほどの時間を費やし、努力してきた。全国大会に出たというだけで満足せずに、次は全国大会で通用するように努力したい。

文芸部 美術部

第36回全高等学校総合文化祭に参加し、経験を積んだ。



会員の声

紫塚同窓の

結い心三想

佐藤 秀夫 (高7回)

その一 どなたも故郷や母校への愛着は一入のことと思う。幸い、私は、生れ、育ち、学んだ故郷の地で、故郷の教育の道一筋で、定年満了できたことは、「お陰様で」の感謝の一言である。

私は、一時期、県教委那須教育事務所勤務の任を受け、故郷那須の地(当時は管内七市町村)の風土に根差した特色と均衡ある教育・文化・スポーツの充実・発展・推進のために、多くの方々からご協力・ご支援を得て、その任を果すことができた。諸々の教育関係会議や会合・交渉等では、いく度か、時には偶然に、紫塚同窓の方々との出会いの縁で、会議も深まり弾み、懇親会ではそれぞれに当時の懐かしい母校大高の様子等を話しつつ、互に酌み交わす酒杯も増し、信も増し、更なる真摯且つ強力な協力・支援が得られ、同窓と

は有難き哉をつくづくと感じ、これが紫塚同窓の結い心と想うこと多々ありました。

また、私の所長在任中は、紫塚同窓会の大先輩、故星野宗太郎先生が、県教育委員に在任中で、先生の高い見識・見地から、先生は那須の地をこよなく愛し執心し、後輩を温かく育てる温情心篤く、私も時々気安く叱咤激励を受け、ご指導をいただいたこと、力強く有難き哉、紫塚同窓の結い心の想い一入であり、今なお唯々感謝の至りである。

その二 私の最終勤務校(平成五〜八年)は、黒磯中学校でしたが、母校大高の一大行事である85キロ強歩の深夜の途中休憩所、仮眠所として、体育館や校舎を、強歩開始当初から提供してきた。私の黒磯中学校長時の黒磯中学校長は、同期「昭士会」の小林惺校長(現・同窓会副会長)で、事前にPTA会長等を同道し、小林校長から彼独特の例の響声で「今年もよろしく」との一言に、私も阿吽の呼吸で「分かりました」の一言即応でした。

気がかりとなり、無事成功を願う、強歩の生徒たちを迎えるに当たり手違いがないようにと、本校の大高同窓職員は全員及び協力職員を配し、深夜のひとは校庭に約一五〇〇余名もの生徒及び支援応援諸々の人達が集まり不夜城化(?)の混雑も呈する黒磯中となるので、不測の事故防止の監視体制(校舎内外)を万全にとり、強歩の生徒たちを温かく迎え、静かに休憩仮眠ができ、そして再びエールを送り生徒たちを元気に送り出した。願いのみでした。

深夜、大勢の人たちが待つ黒磯中学校庭へ、「質素堅実」等々の幟を立て、疲労極限に達しながら、なおも自分に挑戦している大高先輩たちの数々の強歩青春ドラマの光景を観ては感涙し、前日からの黒磯支部保護者や紫塚同窓会員の献身的なサポート(臨時の証明設置・テント張り・夜食準備・救急救護・交通整理等々)に伝統校大高の結束力・底力の堅い絆に敬服し、そして強歩の生徒たちを送り出した後は、何事も無かったかのよう

にゴミ一つなく見事に素速く整理整美され、静寂な元の黒磯中に様変わりする頃には、東の空も白々、私も職員もホッと、爽やかに朝を迎えるのです。早速に、この素晴らしい感激のドラマや数々のエピソードを鮮明な内にと、朝会で黒中生に話し、黒中通信では(新聞報道よりもホットに詳細に)保護者・地域にもPRし、大いなる感動の反響もありました。

黒磯中学校の私にとって、思い出多い春の一夜(徹夜)の強歩イベントの四年間であり、母校大高を卒業して約四十年後に、母校とこのようなかたちで関わり合いをもち得た幸せを噛みしめ、同窓の結の心の想いを更

深くし、今なお熱く心に留めている次第である。

その三 私たち高七回卒は、昭和十一年生まれ組であり、昭和の土の会を気取って、「昭士会」と名付け、大高を卒業して半世紀余、毎年必ず、大田原近在在住者を中心に、年頭の新年会をもっている。毎回固定、同じ部屋(割烹・片岡屋・同期の故片岡健治氏を偲び)同じ場所、今でも必ず本もの芸妓(幹事の見事な手配腕前に感謝感激)を招き、最近、小林同窓会副会長や吉川常任幹事から大高の近況や展望・願望を聞き、和気藹々の開会・盛会で新年をスタートする。毎回数名は、遠方から馳せ参じ、久し振りの出会いや情報交換で会が盛り上がり、次回の再会を約し楽しむこと毎度である。発足当初の若き現役の頃は、酒量もそれぞれに豪語し、二次三次会へと流れたが、後期高齢者組に入った最近、酒量も少なめ健康への話題が多くなったのも無理からぬことである。また、生老病死・会者定離はこの世の定めと思い、でも、ポツリポツリと仲間の病氣入院や訃報に接する度に、心痛の極み。

特に、会発足当初から、献身的に幹事・世話(開催通知、諸手配、大高や仲間の喜び・悲しみの連絡等)をしていたいてきているのは、吉川恵造氏と後藤哲夫氏の両氏である。約半世紀余に亘り紫塚同窓の結い心の想いと仲間の絆を堅持し継続し得たのも両氏のお陰であり、我ら「昭士会」の誇りである。

その後藤氏の一昨年七月の急逝には、会にとつても大ショック大打撃であったが、今は故人となつてしまった彼に皆で「ありがとう哲ちゃん」と、彼の真摯な会への尽力に感謝し、ご冥福を祈るのみである。

平成二十四年度
財団法人

紫塚奨学団報告

係教諭 川又勝寿

本紫塚奨学団は、大正7年、多数の同窓生から寄付された財産、1千850円を基金として創設されました。事業の内容は、奨学資金の貸与と優良生徒の顕彰であり、基本財産が生み出す利子を主な事業資金とするものです。基本財産の充実に付いては、創設後からの篤志寄付に加えて、昭和57年度に迎えた学校創立80周年記念事業の主たる事業として取り上げられ、同窓会の熱心なご協力をいただき飛躍的に増額されました。その後も同窓会をはじめ多数の同窓生からのご寄付をいただいております。

平成14年度からは、寄付金と

返還金を貸与金に直接活用することにより新規採用者を2名、貸与月額を3万円といたしました。しかしながら、財団の運営について再度の見直しを行った結果、当面は次のような方針で運営していくことになりました。

①寄付金を基本財産に繰り入れる。
②平成20年度から当面の間は、新規採用者2名に対して、入学時に一括して50万円を貸与する。また、現在、当財団は公益法人制度改革により、より充実した財団となるべく、公益法人化を目指し申請等を行っているところでございます。同窓生の皆様には、従来より奨学団へのご支援をいただいておりますが、今後ともなお一層のご理解とご支援をいただければ幸いです。

郵便局振替口座番号

0035014111356

口座名 財団法人紫塚奨学団

財団法人紫塚奨学団 平成24年度事業報告

1 事業の状況

(1) 奨学金の貸与

大学生 1名 一括 500,000円

(2) 奨学団賞授与

① 顕彰者

・細谷 諒太

② 3ヶ年皆勤者 75名に対して記念品を授与

2 寄付金に関する事項

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

・井上成紀 (現評議員・高12回) 様	30,000円
・玉木 茂 (現評議員・高20回) 様	100,000円
・片柳 洋 (現評議員・高22回) 様	10,000円
・佐藤秀夫 (高7回) 様	20,000円
・匿名希望 様	100,000円
・大林茂俊 (高23回) 様	50,000円
・篠崎勝則 (現評議員・高14回) 様	30,000円
・平成24年度卒業生	239,000円
合計	579,000円



主要大学の合格者数(卒業年度)

()内は過年度卒の内数

国公立大	24年	23年	22年	21年	19年	私立大	24年	23年	22年	21年	19年
東京	1 (1)	1 (1)	0	0	0	早稲田	12 (1)	11 (2)	16 (2)	11	18 (2)
京都	0	0	1 (1)	1	1	慶應義塾	6 (2)	2	8 (5)	4	5 (1)
東京工業	2	1 (1)	1	2	1	上智	3	1	4	4 (1)	2
一橋	1 (1)	0	1	0	1	国際基督教	1	0	1	0	0
大阪	1	0	1 (1)	0	1	学習院	0	1	1	1	2
名古屋	2	2	1	0	3	明治	21 (3)	20 (4)	27 (3)	21 (1)	31 (2)
東北	13	10 (1)	12 (2)	9	12 (1)	法政	8 (2)	13 (2)	27 (3)	7 (1)	17 (1)
北海道	1	4 (2)	4	2	2	立教	4	6 (1)	8 (1)	4	1
九州	0	1 (1)	0	0	0	中央	16 (3)	19 (1)	18 (2)	14 (1)	28
東京外国語	0	0	1	0	0	青山学院	10	6	15	6	13
筑波	3	2	2	1	6 (1)	東京理科	21 (3)	22 (2)	16 (2)	26	29 (2)
千葉	6	5	4	4	14	関西	0	0	0	1	3
埼玉	9 (1)	9	8	7 (1)	6	関西学院	1	0	0	2	4
新潟	7 (1)	10	9	6	1	同志社	2	0	0	2	0
金沢	0	0	0	1	1	立命館	4	5	13 (1)	10	10 (1)
横浜国立	0	3	3	0	1	芝浦工業	18	11	14 (1)	16	14
東京学芸	3	3 (1)	4 (1)	1 (1)	4	日本	50 (3)	34 (2)	49 (5)	56 (4)	39
東京農工	1	2	6	3	2	専修	17 (3)	7	13 (1)	14 (1)	6
電気通信	8	2	3	1	1	東洋	12 (1)	13 (2)	16 (1)	19 (1)	4
静岡	0	3	4	1	9	駒沢	9	11 (1)	5	6	4
山形	6	7 (1)	6 (1)	3 (1)	7	東海	18	16 (2)	13	17	2
茨城	2	12 (1)	8	5 (1)	5	神奈川	7 (1)	23 (2)	14 (1)	6	20
宇都宮	10 (1)	25	10 (2)	15 (1)	14	国際医療福祉	20 (1)	25	12 (1)	12 (1)	18 (1)
首都大東京	3	2	2	3	7 (1)	獨協医療	0	1	2	0	1
現役前期合格者	100 (AO)	90 (AO)	89	83	116	現役私立大計	362	363	348	352	379
奨学団公立合格者	113	114	109	108	136	MARCH以上の合格者数	109	106	154	113	163

紫塚同窓会振込口座について

同窓会の財政がひっ迫しております。終身会費の納入や、母校支援等のご寄附をお願い致します。お振込は、次の振込口座をお願い致します。

郵便振込

口座名；栃木県立大田原高等学校内 紫塚同窓会

口座記号番号；00340-0-1748

※お振込いただく時は、

①お名前 ②卒業年 ③電話番号をご記載願います。



同期会だより

いちはず会 (昭和18年卒)

事務局長 小泉 務

私達、大正14・15年生まれの者は、昭和18年3月1日の卒業で、恩師の提案により一八、つまり「いちはず」で、そして植物のイチハツに因んで同窓年会の名称を「いちはず会」とした。昭和19年1月1日に第一回いちはず会(集い)を開催し、爾来一年として休むことなく連続七十回目の総会を5月23日大田原市内のホテルで開催した。いちはず会員153名のうち現在の生存者は43名となつてしまった。米寿を迎え、第70回総会の記念に、母校和楽池の周辺に、アヤメ科の植物である「イチハツ(一八、鳶尾)」を18株植栽しました。



株式会社 関商事

代表取締役 関 幸一 (高22回)

〒329-2763
栃木県那須塩原市井口532-7
TEL 0287-36-8181 FAX 0287-36-4141

中国料理 応竜

田代 誠一 (高18回)
田代 尚之 (高47回)

大田原市城山2-2-12 (消防署近く)
☎0287-22-2801 (代) FAX 23-8383

寿司・幕の内・割烹仕出し

有限会社 まえむろ

代表取締役 渡辺 繁治 (高19回)

TEL 0287 (22) 6849



(株)奈良スポーツ

代表取締役 奈良 靖久 (高12回)

大田原市紫塚2-2609-97
TEL 0287-22-2670
http://www.narasp.com

司法書士法人 片柳事務所

『悩みごと相談室』開設しました

代表社員 片柳 洋 (高22回)
司法書士
社員 伊藤 憲司 (高39回)
司法書士

〒329-2711
栃木県那須塩原市石林2-2-4番地6
(大田原西那須野街道一本松ぼっぼ通り沿)
TEL 0287-37-5500 FAX 0287-36-8672



医療法人 博友会

原眼科医院

HARA EYE CLINIC

院長 原 裕 (高20回)

〒324-0042
大田原市末広1丁目5番27号
(大田原市農協ヨコ)
TEL 0287 (24) 0011

カンタン・キレイ・色あせない
FUJICOLORデジカメプリント
写真のことなら何でも、
当店におまかせください。

カメラの山口

山口 紀之 (高36回)

大田原市山の手1-7-1
TEL 0287-23-4166

劇画 石山

〒325-0056
那須塩原市本町5-5
TEL 0287-62-0128
FAX 0287-62-1076

季節の上生菓子 伏見屋菓子店

伏見 功一 (商1回)
伏見 雅志 (商30回)

TEL 0287-23-2438
FAX 0287-24-2438

(株)田中建築事務所

一級建築士 日本建築家協会会員

代表取締役
阿久津 賢治 (第16回)

本社
〒108-0074
東京都港区高輪2-16-45 高輪中山ビル
TEL 03-5420-243 FAX 03-5420-2461

(有)ナルミヤスポーツ

成宮 正人 (高44回)

大田原市中央2丁目16番地15号
TEL (0287) 23-6668
FAX (0287) 23-6437

すきやき・しゃぶしゃぶ・とんかつ

岡 繁

大小宴会承ります (料理3,000より)

岡野 繁雄 (高23回)

大田原市山の手1-3-9
TEL 0287-22-2474
FAX 0287-22-2718

inoue 井上眼科医院

院長 井上 成紀 (高12回)
副院長 井上 直紀 (高43回)

〒324-0051 大田原市山の手1-2-11
☎ 0287-22-2514

各種印刷 飯村印刷

飯村 忠雄 (中42回)
飯村 通 (高28回)

TEL 0287-22-2016 (代)
FAX 0287-23-4055

社会保険労務士法人
ソウマ・高根事務所

社会保険労務士
相馬 誠一 (商3回)
〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町2-105
ワテラスアネックス1210号
TEL 03-3251-5141

三九会
(さんきゅうかい) (高16回)

東京：親睦会2月
大田原：定例会3月9日
ゴルフ会：9月3日
藤田宏和 電話 0287-29-0902
岡本之良 電話 048-442-4364



吉岡食品工業株式会社

乾燥唐辛子・塩漬唐辛子・葉唐辛子佃煮 製造
吉岡博美 (高20回)
吉岡航平 (高51回)
本社 〒324-0051 栃木県大田原市山の手2-16-10
TEL 0287-23-5555/FAX 0287-23-5557



セレモニーホールあぶらや

有限会社 油屋商店
吉川 恵造 (高7回)
吉川 秀之 (高34回)

〒324-0051 栃木県大田原市山の手1丁目1番22号
(本店) TEL 0287-22-2219 FAX 0287-23-7863
(ホール) TEL 0287-24-2411 FAX 0287-24-2412

潮田賢治法律事務所

弁護士 潮田 賢治 (高25回)

〒324-0042
大田原市末広1-1-32 三浦ビル2F
TEL 0287-20-1254
FAX 0287-20-1256



久島労務管理事務所

社会保険労務士 行政書士 久島 正 (高20回)
〒329-2754
栃木県那須塩原市西大和3-41
電話 0287-36-9911(代)
FAX 0287-36-8550



小林内科外科医院

小林 伸久 (高33回)

〒324-0028
大田原市富士見1-1606-265
TEL 0287-23-8870

車田医院

車田孝夫 (高3回卒)
車田宏之 (高32回卒)

栃木県大田原市大豆田457-24
電話 0287(54)0062

確かな情報伝達企業として



株式会社 エーエム企画

新聞・広告・保険

栃木県大田原市黒羽向町409
TEL.0287-54-0126 FAX.0287-54-0714

黒羽・佐久山・大金新聞販売センター

塩原大綱
湯守田中屋

〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原6
TEL 0287-32-3232 FAX 0287-32-2989
<http://www.tnky.jp>

タイル工事・石工事・住宅リフォーム・太陽光発電システム



ハシモ株式会社

代表取締役社長 橋本 徹 (高32回)
益子 範明 (高32回) 荒牧 量 (高32回)
山崎 洋 (高33回) 橋本 悟 (高41回)
渡辺 毅 (高45回)

本社/大田原市南金丸2000 TEL 0287-24/0010(代)
東京営業所/北区赤羽台 東北営業所/仙台市泉区
<http://www.hasimo.co.jp>

情報システムのバイオニア

株式会社 テクノ産業

代表取締役
秋間 忍 (高16回)



〒325-0033
栃木県那須塩原市埼玉371-8
TEL 0287-62-6010
FAX 0287-62-8998
E-mail: techno@tecowl.co.jp
<http://www.tecowl.co.jp>



井上眼科医院

井上 亮 (高49回)
順天堂大練馬病院眼科

〒324-0051 大田原市山の手1-2-11
☎ 0287-22-2514

吉成小児科医院

医師吉成仁見(高22回)

〒324-0055

栃木県大田原市新富町2-1-22
電話(0287)22-2412

鈴木歯科医院

鈴木和雄(中39回)

〒324-0241

大田原市黒羽向町74
TEL 0287-54-0700

内科・小児科・循環器内科

医療法人金澤医院

理事長金澤正邦(高15回)

事務長金澤政史(高47回)

〒325-0052

栃木県那須塩原市中央町1-8

TEL 0287(62)0029

FAX 0287(64)2590

猪股司法書士事務所

司法書士猪股秀章

(高21回)

紫塚同窓東京会事務局長

〒106-0041

東京都港区麻布台3丁目1番5号 電話 03-3583-8657
日ノ樹ビル401号 FAX 03-3583-0583

建築家からの提案「人と環境にやさしい建物」

有限会社和泉設計

代表取締役和泉卓哉(高22回)

〒329-2703 栃木県那須塩原市槻沢322番地9

TEL 0287-37-4871

FAX 0287-37-4872

http://www.izumi-architects.com/

安心、安全、美味



那須野ポーク

(商標登録5176626号)

登録販売元 肉の金澤

代表取締役金澤駿一

(高11回)

〒325-0052 那須塩原市中央町本店 TEL 0287(63)4129

FAX 0287(63)8161

弥生町支店 TEL 0287(63)5673

http://www.nikunokanazawa.com

那須の美酒

聖質素

池島酒造株式会社

代表取締役
池嶋英哲(高20回)
池嶋佑介(高52回)

〒324-0036
大田原市下石上1227
TEL 0287(29)0011

題字 長嶋石城(高8回)

ALSOX ホームセキュリティα

北関東総合警備保障株

代表取締役社長青木勲(高9回)

常務取締役笹沼収(高9回)

本社：宇都宮市不動前1-3-14

TEL：028-639-0301

介護用品のレンタル・販売

(株)まつや薬局

松本寿広(高20回) 松本智史(高45回) 松本隆史(高48回)

■処方せん調剤 クスリのご相談、介護のご相談お気軽にどうぞ

■介護用品全般 保険調剤薬局 ☎(0287)22-2502(代)

大田原市城山1丁目5-31 FAX兼(0287)23-5040

宗教法人

大田山光真寺

住職黒田泰弘(高35回)

〒324-0051 栃木県大田原市山の手2-11-14

TEL(0287)22-2033

郷土の発展と共に、一世紀 since 1884

那須土木株式会社

那須土木株式会社一級建築士事務所

本社/栃木県大田原市中央1丁目13番10号

TEL 0287(23)5678(代)FAX 0287(23)0355

URL http://www.nasudokk.co.jp

代表取締役玉木茂(高20回)

取締役総務部長宇山洋一(高19回)

総務課長桑久(高37回)

総務課主任郡司康雄(高45回)

住宅事業部住宅建築課代理矢吹博司(高46回)

建築部建築課玉木勇介(高52回)

きれいな写真は、

ミハル写真館

〒324-0051
大田原市山の手2-6-33
TEL0287(22)2566
(消防署前)

藤田山円光寺

住職 神島 仁誓 (高24回)
〒329-2755
那須塩原市西原町4-5
TEL 0287-36-0476
FAX 0287-36-2965

内科・小児科 鎌田浅香医院

鎌田 美樹雄 (高24回)
〒324-0043
大田原市浅香3-3-9
TEL 0287-22-2703



住んでよし
心ゆたかな 大田原

有限会社 藤田材木店

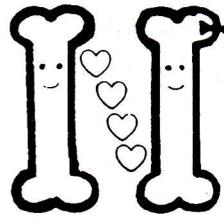
栃木県大田原市美原3丁目3266-1
TEL 0287(22)2617
代表取締役 藤田 昭彦 (高26回)
常務取締役 藤田 晋輔 (高54回)



NISHIDA

西田整形外科医院

整形外科・リハビリテーション科
整形外科専門医
院長 西田 三郎 (高30回)



ORTHOPAEDIC

大田原女子高校そば
〒324-0053
栃木県大田原市元町1丁目9-18
TEL 0287-20-3100

各種自動車販売・民間車検・石油類販売

(有)小浦モータース

小浦 道夫 (高27回)
小浦 敏夫 (高31回)

本社 大田原市佐久山2208番地
佐久山SS TEL 0287(28)0016
実取SS TEL 0287(28)0480
車検センター TEL 0287(36)5338

エクソンモービル有限会社
代理店

(有)浅井礦油

代表取締役 浅井 元
(高29回)

〒324-0057
栃木県大田原市住吉町1-14-20
TEL 0287(23)3366(代)

十善山雲照寺

住職 草野 知明 (高20回)
副住職 草野 光丘 (高49回)

那須塩原市三区町659番地
TEL 36-0824
FAX 36-3753

日本整形外科学会専門医
医療法人 阿久津整形外科

(リウマチ科・
リハビリテーション科)

院長 阿久津 政司 (高37回)

〒329-2727
栃木県那須塩原市永田町3-16
(西那須野駅前)
TEL 0287(36)3639(代)

北関東36不動尊霊場第24番礼所
下野観音霊場第9番礼所

真言宗智山派 龍頭山不動員龍泉寺

住職 植木 盛雄 (高36回)

大田原市山の手2-9-2
TEL (0287)22-2978
FAX (0287)24-2371

セイワ薬局

星 和明 (高30回)

〒324-0042
大田原市末広2-8-27
TEL 0287(22)2628

吉成歯科医院

吉成 慶司 (高23回)

〒324-0234 大田原市前田145
TEL 0287-54-2600

ExxonMobil エクソンモービル代理店

(有)吉田屋商店

代表取締役 森 英夫 (高30回)

那須塩原市西栄町1-8 本社 36-0013 ICSS 36-4661
電話 (西那須野) 0287 国道SS 36-0817 BPSS 36-1493

facebook

- 紫塚同窓会のfacebookも開設しました。平成25年6月1日現在、「いいね」は127人。第28回強歩や高校野球関東大会といったビッグニュースを送信した時は、592人が「話題」に取りあげてくださり、「リーチ」は6,444人に達しました。
- 紙ベースの情報「同窓会報」は、一方通行の情報発信であり、しかも年一回発行では、情報の陳腐化は避けられません。
- ホームページでは、タイムリーな情報提供ができ、近年多用されていますが、紙ベースと同じで一方通行の情報です。
- それに対しfacebookは「双方向」での情報発信ができます。誰が発信し、誰が受信したか分かります。どの地区で何人読んでいるか、男女別、年齢層別のデータも入手できます。同窓会活動の活性化や「若い世代のご理解、参画意識の向上」のためにも、facebookを活用したい。
- ただし、足の引っ張り合いなどマイナスイメージの投稿は避けたいと願っています。皆さまのご協力をお願いします。

【広報担当副会長】

平成26年度同窓会総会・懇親会のお知らせ

(平成25年度から、6月の第一土曜日に固定化しました。)

1. 日時 平成26年6月7日(土)
 総会；15：00～ (予定)
 懇親会；16：00～18：00 (予定)
 2. 会場 大田原市内結婚式場
 3. 詳しいご案内
- 紫塚同窓会本部のホームページ、facebook等でご案内致します。
 - 各年次の常任理事にも、事前連絡致します。

第60回十年会のお知らせ

- ・日時 平成25年8月15日(木) 15：00開始
- ・場所 結婚式場 KATSUTAYA
 (大田原市中田原2082-3 TEL0287-23-4165)
- ・該当年次 高5、高15、高25、高35、高45、高55
- 該当年次の方；会報に同封された案内に従って申込みいただくか、該当年次の常任理事、理事の方を通して申し込んでください。
- 該当年次以外で参加ご希望の方；
 平成25年7月末日までに母校・紫塚同窓会事務局までFAXでお申込みください。
 大田原高校 FAX0287-23-9691
 (卒業年度、氏名、住所、電話番号)を必ずご記入ください。
 会費、5,000円は当日会場にご持参ください。

第12回紫塚GFクラブゴルフコンペ参加者募集

- ◇開催日 平成25年10月19日(土)
- ◇開催場所 那須野が原カントリークラブ
- ◇募集人員 20組、80人
- ◇競技方法 18ホール ペリア方式
 団体競技及び個人競技
- ◇参加費 3,000円(賞品及びパーティー費)
- ◇プレー費 10,000円(昼食付)
- ◇表彰 団体、及び個人競技の部に優勝カップあり。
 参加賞、その他賞品
- ◇参加申込、問合せ先
 紫塚GFクラブ事務局
 大田原市財務部長 田村正幸(高24回)
 TEL 0287-23-8797

紫塚同窓会 ホームページ

- URL <http://www.muradou.sakura.ne.jp>
- お問い合わせ、ご意見など
 e-mail:daikol@muradou.sakura.ne.jp
- ※昨年度は、回線不具合でタイムリーにご回答できず、ご迷惑をおかけいたしました。
- ※今年は各界で「活躍する同窓生」もご紹介したい。常任理事を通してか、直接上記e-mailにご投稿ください。

編集後記

昨年度は、百十周年記念号として20ページの紙面としたが、今年は元に戻した。「会報」は紙ベース情報として記録上も大切だが、どうしてもタイムラグが発生してしまう。予算の50%を使用することも問題である。若い世代の会員にあまり読まれていないようで悩みが尽きない。若い世代(20歳代から40歳代)と交流を深め、同窓会の活性化手段がないのだろうか。ソーシャル・ネットワークの世界に突入している昨今、ホームページやfacebookといったネットワーク手段を活用すれば「道が開ける」、そんな気がしている。後れを取らないようにしたい。同窓会総会の翌朝、状況をfacebookにアップしたら若い会員からすぐに「力強い」反応があり、勇気づけられた。車田会長の下で、改革の糸口を探し、礎を固めたい。

広報担当・増淵忠行(高16回)

